

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		学校総合支援員配置事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6136	
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1 共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市学校総合支援員設置要綱					
	小項目	1 「生きる力」を育む学校教育の推進								
	主要プロジェクト	0 (未使用)								
事業概要		不登校や児童虐待、保護者対応など、学校が抱える問題の解決に向けてのアドバイスや児童・生徒の安全指導、中学生補習学習、アプローチ教室の運営等の総合的な支援を行う。また、必要に応じて、学校応援団や研究所専門員、専門機関と連携・協力をして支援にあたり、緊急・重大な事案の場合にはサポートチームと連携・協力し対応する。								
目的 ※何のために		学校が生徒の問題行動への早期対応・早期解決、問題行動の未然防止を図るための支援をする。								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立小中学校の職員等を対象								
手段 ※どのように		市内小中学校に10名を配置し、学校運営支援、スクールガード支援、学習支援を行う。								
成果 ※何を求めるか		学校が生徒の問題行動への早期対応・早期解決、問題行動の未然防止を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	学校総合支援員配置事業	11,804,302
本事業の 主な業務		・学校運営支援							・	
		・スクールガード支援							・	
		・学習支援							・	
		・学校総合支援員の配置							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		学校総合支援員の配置	学校総合支援員の配置	学校総合支援員の配置	学校総合支援員の配置	学校総合支援員の配置	学校総合支援員の配置
事業費	予算(現額)	11,072,000	11,072,000	11,072,000	11,840,000	12,106,000	0
	決算額	11,052,474	11,052,060	10,772,076	11,430,920	11,804,302	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	11,052,474	11,052,060	10,772,076	11,430,920	0
人件費	従事職員数(人)	0.16	0.16	0.01	0.23	0.13	0.00
	人件費相当試算※	1,244,640	1,245,120	78,610	1,871,280	1,009,049	0
総事業費試算		12,297,114	12,297,180	10,850,686	13,302,200	12,813,351	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	学校総合支援員数	目標値	人	10	10	10	10	10	10
		実績値		10	10	10	10	10	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		中学校 10 校に 1 人づつを目標値とする。/配置人数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	学校総合支援員の配置校数	目標値	校	10	10	10	10	10	10
		実績値		10	10	10	10	10	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		中学校 10 校を目標値とする。 / 配置校数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	学校運営支援を行った回数 （巡回活動・関係機関連携）	目標値	回						
		実績値		1200	2781	3425	3312	2628	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		学校の実情に合わせるため、目標値は設定しない / 活動報告書（対象支援／総支援回						
	実績値の算出式								
成果指標 2	スクールガード支援を行った 回数（登下校時見守り活動）	目標値	回						
		実績値		820	1135	1073	1183	1249	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		学校の実情に合わせるため、目標値は設定しない / 活動報告書（対象支援／総支援回						
	実績値の算出式								
成果指標 3	学習支援（ステップアップ レッスン）を行った回数	目標値	回						
		実績値		700	2188	2708	2594	3516	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		学校の実情に合わせるため、目標値は設定しない / 活動報告書（対象支援／総支援回						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	学校の実態に応じて、不登校生徒支援、保護者対応、児童生徒の安全確保に係る見守り活動やスクールガード支援を 100%支援できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	学校支援（ステップアップレッスン）の実施及び学校総合支援員を予定通り全中学校で配置することができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 大竹 真人

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	年間活動計画書や勤務記録簿等について、電子化し効率を図っている。また、好事例を共有化し、効率よく事業を行えるようにしている。
			評価者 課長補佐兼指導主事 大竹 真人

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	学校総合支援員配置事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6136
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>市内市立全中学校に支援員を配置し、以下の3つの視点で学校や教師を総合的に支援することができた。 ①学校運営支援（生徒、保護者対応、関係機関との連携等） ②スクールガード支援（安全・安心に係る取組） ③学習支援（ステップアップレッスン、アプローチ教室等） また、活動内容も各学校の実態に応じたものになり、充実してきている。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	学校教育課長 兵頭 一樹				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

